

Green Age

vol. 119
2025.7月号

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第119号

1面…学期終業式／全国大会出場者壮行会／
第54回校内作文コンクール表彰
2面…Sclio／先生！オシをオシせて！
3面…部活動の活躍
4面…クラスマッチ成績／行事予定

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 / 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 / TEL.099-255-3211 / FAX.099-258-0080

今年の1学期終業式は、校長室会議室より各教室にYouTube配信で行われました。8時40分開式のことばは、国歌斉唱のあと、校内作文コンクール、1学期クラスマッチの表彰が行われました。また、部活動の活躍や、検定の結果も紹介されました。

続いて、2年生の各学科の代表が所感を述べました。

普通科の吉原詩織さん（2F5坂元中）は、自分でも成長できた1学期だと振り返りました。「勉強と部活動の両立に苦労したが、工夫して自宅での勉強時間も増えてきた。特に5月のインターハイ予選で優勝し、バスケット部が念願の男女アベック優勝を果たせたことは最高の喜び。チーム全員で心をひとつにして最後まであきらめなかつたことが結果につながった。周囲の支えに感謝しつつ、目標に向かって進みたい」と抱負と決意を述べました。

次に英数科の加治屋太智さん（2EE1谷山中）が「甘さとの戦いだった」と、予習復習に力を入れようとしたながらも、内容の充実まで至っていない、と自身の課題を述べました。一方、硬式野球部の県大会2回戦に触れ、「結果は敗戦だったが、5点差を追い上げ、タイブレークにまで持ちこんだ先輩たちの本気の姿勢に接したことは何ものにもかえがたい財産。今度は自分たちがチームの中心。自覚をもって人間としても成長したい」と力強く語りました。

最後に情報ビジネス科の児玉匠さん（2J4鴨池中）が、「クラス替えがあってまだ数ヵ月ながら、クラスマッチで総合優勝するなど、充実した学校生活であり、資格取得への挑戦もでき、と語りました。児玉さんもバスケットボール部。「県大会での勝利の瞬間を忘れず、いつそう成長していく」と、2年生3名の所感発表を締めくくりました。

吉原詩織さんは、「1学期を過ごして、多くの場所でことばを聞いていることから、遠い場所でのことと考えがちだが、本校にも影響を受けている生徒がいる。被害を受けている人々を思いやる心をもつてほしい」と、自然災害への配慮も呼びかけました。また、「人間は特に問題がないかぎり現状維持を選びがち。少しでも前進することを考え、新しい挑戦をしてほしい。特に3年生は勝負の夏休み、進路実現に直結する時期を、大切に過ごして、全校生徒が笑顔で2学期を迎えてほしい」と述べました。

校歌齊唱閉式のことばをもって、約30分の終業式を終えました。



focus the
KAKO

1学期終業式

今年の1学期終業式は、校長室会議室より各教室にYouTube配信で行われました。作文コンクール、1学期クラスマッチの表彰が行われました。また、部活動の活躍や、検定の結果も紹介されました。

続いて、2年生の各学科の代表が所感を述べました。

普通科の吉原詩織さん（2F5坂元中）は、自分でも成長できた1学期だと振り返りました。「勉強と部活動の両立に苦労したが、工夫して自宅での勉強時間も増えてきた。特に5月のインターハイ予選で優勝し、バスケット部が念願の男女アベック優勝を果たせたことは最高の喜び。チーム全員で心をひとつにして最後まであきらめなかつたことが結果につながった。周囲の支えに感謝しつつ、目標に向かって進みたい」と抱負と決意を述べました。

次に英数科の加治屋太智さん（2EE1谷山中）が「甘さとの戦いだった」と、予習復習に力を入れようとしたながらも、内容の充実まで至っていない、と自身の課題を述べました。一方、硬式野球部の県大会2回戦に触れ、「結果は敗戦だったが、5点差を追い上げ、タイブレークにまで持ちこんだ先輩たちの本気の姿勢に接したことは何ものにもかえがたい財産。今度は自分たちがチームの中心。自覚をもって人間としても成長したい」と力強く語りました。

最後に情報ビジネス科の児玉匠さん（2J4鴨池中）が、「クラス替えがあってまだ数ヵ月ながら、クラスマッチで総合優勝するなど、充実した学校生活であり、資格取得への挑戦もでき、と語りました。児玉さんもバスケットボール部。「県大会での勝利の瞬間を忘れず、いつそう成長していく」と、2年生3名の所感発表を締めくくりました。

focus the
KAKO

全国大会出場者壮行会

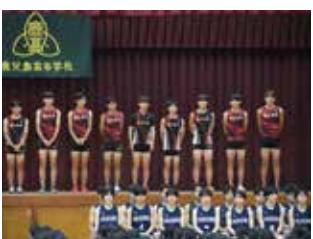
この夏、10の団体、個人の総勢64名の鹿高生が、全国に挑みます！

7月18日（金）、体育館で壮行会が催されました。和太鼓部の演奏の中、各団体の代表はお礼と決意を力強く述べました。

校長先生は、全国大会出場者の数としてはおそらく県内屈指。ライバルが気になるのは当然だが、まずは自分自身と向き合って、100%、120%の力を発揮してほしいと激励。同窓会長の淵村文一郎様は「全国の同窓生がみなさんを応援しています」と、同窓会からの激励金をお贈りくださいました。

生徒を代表して三弧会長の浦上智子さん（3F1鹿大附属中）が「いくつかの部の練習を見学させてもらつたが、声かけ飛び交う瞬間が印象的」豊臣秀吉の例にもあるように、ポジティブな声かけが成功につながる」として「全国の舞台を楽しんできてください」と激励しました。

最後にサッカー部がリーダーとなつて、全校生徒でエールを贈りました。



focus the
KAKO

第54回 校内作文コンクール表彰

1年	2年	3年
●「隣Sigma」 普通科2組 曽山真歩	●「勉強と承認欲求」 普通科1組 濱口裕衣	●「ありがとう」 情報ビジネス科4組 相澤朱音
●「人は変われるのか」 英数科特進1組 古市結愛	●「僕の言葉で伝える」 情報ビジネス科4組 相澤朱音	●「我々は宇宙を掌握できるか」 英数科特進1組 新小田順也
●「私の将来の夢」 情報ビジネス科4組 田口優奈	●「平和のために」 情報ビジネス科2組 倉野真桜	

Green Age
～可能性の世代～

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これから可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、「グリーンエイジ」と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいのやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

③シラバス(講義計画書)

最近は学生の受講登録のネット利用が進んでおり、ホームページから各大学のシラバスを閲覧することができます。講義名には専門的用語が使用されることもあり、理解にはやや苦しみますが、その分、学部や学科の中身を知ることが可能となります。進学したい学部・学科から学校を選びたいときには有効です。

④高大接続改革事業

最近、各大学がある一定期間を利用して行っている企画です。鹿児島大学の理学部・工学部・農学部は、それぞれ独自に体験授業を企画しています。参加者は「高大接続科目履修生」として、大学1年生が受講する講義、90分講義15回を有料で受講し、レポート提出、試験に合格すれば、同大学に進学した際に取得単位として認定されるものです。

④は従来の出前授業やオープンキャンパスなどの「受験者開拓ではなく、少子化の中での「受験者育成」を目的としており、志願者の学びを育む高大接続活動といえます。しかし、一方で「合格したいだけ」の受験生は、志望校の様々なイベントに振り回されことになります。各学校による④の実施は、「どのような力を身につけたいのか」「どこで学びたいのか」「何を評価してもらいたいのか」について、明確にすることを受験生自身に對して求めているようです。

- ①ホームページ情報**
各上級学校(大学・短大・専門学校)のホームページの情報は充実しています。私立大学では既に2026年度入試の募集要項が発表されていると思います。その他、オープンキャンパスや各種イベント情報も満載です。
- ②オープンキャンパス**
8月を中心に各上級学校はオープンキャンパスを実施しています。入試情報や就学に関わるお金の話をはじめ、修学意欲を喚起するための模擬授業や体験学習、グループワークなど学びを楽しむイベントが企画されています。



大学を知ろう！

夏休みは皆さんのが大学について深く知るチャンス。3年生にとっては進路実現の最大の山場でもあります。皆さんはこれまでさまざまな方法で大学について調べて来たと思いますが、今回は、従来までの一般的な情報源(①～③)に加え、最近の上級学校の試み(④)についても紹介しましょう。



【第3回】
佐澤雅祥教頭先生

バスケットボール

大好評のこのコーナーも3回目を迎えました。今回は、佐澤雅祥教頭先生にライ

フワークとも言えるバスケットボールについて伺いました。折しも、バスケットボール部の男女そろってのインターネットハイ出場に学校が盛り上がるタイミングで、熱い思いを語っていただきました！

バスケットボールは中学校で始めました。高校、大学、鹿高に就職後も教員チームに所属してプレーを続けました。本校の男子バスケ部の監督を、平成時代のほぼ全部で務めました。今回の男子のインターネットハイ初出場は本当に感無量でした。決勝リーグの最終2試合の応援に行きましたが、川内戦もれいめい戦も10点以上のビハインドからの逆転。感動しました。

ひとりひとりがしっかりと自分の仕事をし、うまくいかない局面でも決してあきらめず、集中を切らさなかつたことが勝因だと思います。

実は、男子バスケ部の監督をしていた平成13年、インターハイ県予選決勝リーグで川内高校と当たったのですが、当時、西堂先生が川内高校の絶対的なエースでした。「打倒川内」「打倒西堂」で燃えたのを今でも覚えていています。今回のインターネットハイで、自分もアシスタントコーチとしてベンチ入りすることになったのですが、西堂先生とベンチで並ぶことに、深い縁を感じます。

かつて、県バスケット協会の役員として日本リーグ(現在のBリーグ)の運営に携わった経験もありますが、そのころに比べると、今のバスケット人気は夢のようです。鹿児島でもレブナイズがファンを集めていますし、日本代表チームのテレビ中継も増えました。

人気の一因は、日本のバスケットボールが世界に通用するようになつたことが大きいと思います。一昨年、沖縄で開催されたワールドカップを現地で観戦しました。日本でワールドカップを見る機会は一度きりかも知れない、と思って行きましたが、会場全体が熱気に包まれていて、日本チームの実力も人気も世界レベルになつたと実感しました。

これからも鹿高の男女バスケ部を応援するのはもちろん、鹿児島レブナイズ、日本代表チームを応援して、観客としてもバスケットボールを楽しんでいきたいです。

今注目しているプロのプレイヤーは河村勇輝選手です。体格は小柄ながら活躍し、アメリカの大学を経ずにBリーグからNBAにチャレンジしている選手です。いつか、アメリカに行つて河村選手のNBAでの試合を観戦してみたいですね。

かけはし／7・8月号

7月2日(水)、3日(木)、4日(金)の3日間に渡って、
クラスマッチが行われました。暑さに負けない、熱い
戦いが繰り広げられました。結果をお知らせします。
優勝したクラスのみなさん、おめでとうございます！



総合優勝



サッカー

3年	2年	1年	3年	2年	1年
3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位
3 F 7	2 F 5	1 F 4	3 J 4	2 F 4	1 F 5
4 · 3 E A	2 E T 1	1 J 2	3 F 5	2 F 4	1 J 3
(合同チーム)	· 2 J 4	· 1 J 3	· 3 J 2	· 2 E T 1	· 1 J 2



バドミントン

3年	2年	1年	3年	2年	1年
3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位
3 F 5	2 F 4	1 F 4	3 F 3	2 F 2	1 F 2
4 · 3 J 4	2 J 3	1 J 3	3 J 2	2 F 3	1 F 8
(3 J 2)	· 2 F 7	· 1 E E 1	(3 J 2)	· 2 F 1	· 1 F 3



ソフトボール

3年	2年	1年	3年	2年	1年
3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位
3 F 4	2 F 4	1 F 9	3 F 3	2 F 3	1 F 5
4 · 3 J 4	2 J 3	1 J 3	3 J 2	2 F 2	1 J 3
(3 J 2)	· 2 F 7	· 1 E E 1	(3 J 2)	· 2 F 1	· 1 F 3



女子バレー

1年	2年	3年	1年	2年	3年
1位 1 E E 1	1位 2 F 4	1位 3 J 3	1位 1 F 9	1位 2 J 4	1位 3 J 2
2位 1 J 3	2位 2 F 4	2位 3 J 2	2位 1 J 2	2位 2 J 2	2位 3 J 4
3位 1 J 2	3位 2 F 4	3位 3 J 1	3位 1 F 8	3位 2 F 2	3位 3 J 3
(1 J 2)	(2 F 4)	(3 J 1)	(1 F 8)	(2 F 2)	(3 J 3)



オセロ

3年	2年	1年	3年	2年	1年
3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位	3位 2位 1位
3 F 4	2 F 5	1 F 4	3 F 5	2 F 8	1 F 8
4 · 3 J 4	2 J 6	1 J 1	3 J 2	2 J 1	1 J 2
(3 J 2)	· 2 F 7	· 1 E E 1	(3 J 2)	· 2 F 1	· 1 F 3



8月の行事予定

8月

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
日	土	金	木	水	火	月	火	土	金	木	水	火	月	火	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
振休(10月25日秋の体験入学午後分)	生徒休校(7月29日～30日)	夏季休業(7月31日～8月7日)	第2回英語力テスト(8月24日)	P.T.A役員会(17時)	始業式終了後身だしなみ検査／三孤会長選挙告示	夏の体験入学①	夏の体験入学②	図書特別貸し出し最終日	夏期講座特別指導後期終了(1・2・3年)	振休(8月23日夏の体験入学終了日)	第2回全統記述模試(3年)	登校日：全校朝礼／体験入学準備	学園夏季休暇	学園夏季休暇	振休(10月25日秋の体験入学午前分)	山の日	定期清掃	転入試験受付締切	終日ノーキャンス	全統共通テスト模試(3年英数)	終日ノーキャンス	全統英数科特進(3年英数)	演習会(18時開演カクイックス交流セントラル)	グローバルスタイルグラグラム(1年英数科特進～8月8日)	(1年英数科特進～8月8日)	振休(7月26日部活動体験入学②午後分)					

ホームページでGreenAgeを公開中！

<http://www.kagoshima-h.ed.jp/magazine01/>